

令和2年度
6月号



六瑞小だより

令和2年 6月 1日発行
荒川区立第六瑞光小学校
校長 佐野 実
第334号

今日がたのしく 明日もうれしい 六瑞小

<http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/DAI6ZUIKO-E/>

4つの重点で学校再開に取り組みます

校長 佐野 実

6月1日より学校が再開されました。学年を分けての分散登校から始める段階的な再開ではありますが、学校に子供たちの声が戻るのは何より嬉しいことです。私は今年度からの着任ではありますが、この始業式、入学式の前から子供たちや地域・保護者の皆様と出会い、学校や地域の良い雰囲気を感じられる機会が様々ありました。

4月の教材配布日、登校した高学年の数名が名簿に近付きました。一人の子が自分の名前にチェックをしようとしたところ、一緒にいたもう一人が「あっ」と気付いてずっと後ろに下がり、間隔をとって並んだのです。ソーシャルディスタンスという言葉が今ほどは認知されていない時期でしたので、六瑞っ子の自発的な配慮ある行動に大いに感心しました。先週の「連絡日」に正門で出迎えていた際には、「おはようございます」の挨拶が自然にできる子供たちや、わざわざ声を掛けてくださる保護者の皆様とのちょっとした触れ合いを嬉しく思いました。先日は「六瑞パパの会」の皆様が学校再開の一助にと、体育館の清掃と正門周辺の草取りに集まってくださいました。地域にご挨拶に伺いました際には、皆様からご協力のお申し出や励ましの言葉をいただき、たいへん心強く思いました。これならば、共に難局を乗り越えられると思えました。

学校では<健康管理><心のケア><生活リズムの構築><学びの充実>の4つを重点に、学校の円滑な再開を目指します。

<健康管理> 消毒・机の配置等の衛生環境の整備と、感染予防の生活様式やマナーといった、自分と相手を守る方法についての指導の両面の充実を図ります。健康観察を徹底します。

<心のケア> 不安や制約の中で長期間過ごしてきた子供たちの話を、まずはしっかり聞くことを大切にします。一人一人へのアドバイスや励ましは教員の一番の役割という構えです。

<生活リズムの構築> 当面は変則的な時間帯になりますが、毎日登校する、学校の時程に合わせた生活をするといったリズムを作ることを重視します。あらためて早寝・早起き・朝ご飯を。

<学びの充実> 新年度の学習内容と、一人一人の学習状況の確認及び復習を、平行して進めます。単調な問題練習ばかりに陥らないよう、学習意欲を引き出す授業を工夫します。

<6月の行事予定> *今後の状況によって、変更する場合があります。(6/1現在)

1	月	始業式・入学式		16	火	委員会
2	火			17	水	
3	水		分散登校 お配りしたプリントでご確認ください。	18	木	◎
4	木	保護者会(全)		◎	19	金
5	金			20	土	土曜授業日(授業公開はありません)
6	土			21	日	
7	日			22	月	★
8	月	給食(始)	分散登校 お配りしたプリントでご確認ください。	★	23	火
9	火			24	水	
10	水			◎	25	木
11	木			◎	26	金
12	金			27	土	
13	土			28	日	
14	日			29	月	☆
15	月			☆	30	火

◎: 都スクールカウンセラー内藤先生 原則毎週木曜日 ☆(午前) ★(午後): 区スクールカウンセラー高田先生



お世話になりました。

～退職・転出教職員より～

校長 金子 陽子 先生

六瑞っ子の皆さん、元気になっていますか。児童数は少なくとも大きな夢に向かって歩み続ける「六瑞っ子」は、地域の宝です。新型コロナウイルス感染症の不安な中でも、六瑞っ子は、正しい知識をもとに、自分のすべき事をしっかりと見据え、着実に自分の目標に向かって努力をしていると思います。皆さんが学んでいる「人権」と「音楽」と「主体性」は、この困難な状況を乗り越える今こそ、必要なものです。自分たちの力を信じ、自分たちでできることはないかを考え、力強くたくましく、六瑞小の伝統を築いてください。

かけがえのないこの2年間は私の大切な宝物です。支えてくださった皆様、ありがとうございました。

図工 塩田 薫 先生

皆さんの想像力や表現力の素晴らしさのもとで図工の授業ができたことは、自分にとって一生の宝物になりました。皆さんには、無限の可能性があって、それをたくさん見せてもらったことに感謝しています。これからも皆さんには挑戦する勇気をもってほしいと思っています。勇気を出して経験したことが自信に変わっていくはずです。そして、自分の可能性を広げながら、やってみたいことを見つけて、夢に向かって歩み続けてほしいです。離れていても、ずっと応援しています。六瑞っ子、ファイトー!!

教諭 天沼 文 先生

新型コロナウイルスにより、大変な毎日を送っていらっしゃる皆様、いかがお過ごしですか？

第六瑞光小学校に勤務した約1年間、大変ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。

このようなことになるとは、全く予想できませんでした。今は、退職をし、明日までにしなければならぬことの無い毎日を送っています。

六瑞小での毎日はわたしにとって、とても貴重な日々でした。本当にありがとうございました。六瑞小の発展と皆様のご健康をお祈りいたします。

教諭 高橋 直人先生

六瑞小の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

長い休校期間で大変かと思えます。しかし、今だからこそ、学べることもあると思います。それは、「当たり前」です。

学校に来て、友達と話したり、遊んだりする。クラスのみなどで、学習する。それが、「当たり前」でした。そんな「当たり前」が、すごく幸せなことだということを実感したと思います。それをもう一度、実現するために、ぜひ、健康に過ごしてください。

英語 佐藤 玲子 先生

六瑞小で、6年間楽しく過ごさせていただきました。もう少し皆さんと過ごしたかったのですが、六瑞小のことは18年前から知っているのです。先生と子どもたちとの距離が近いとてもよい学校だと思います。今年小学校の先生になった六瑞小の卒業生に、私は偶然会うことができました。六瑞小を離れても再び会えるのは嬉しいものです。皆さんともまた会えることや皆さんの成長を楽しみにしています。

See you again! Take care.

音楽 飯島 純子 先生

昨年9月から半年間、3から6年の皆と音楽室で一緒に過ごしました。とても話がしっかり聞いて集中力のある子供たちだと思いました。学芸会では皆の劇に入りピアノを弾いたことはいい思い出になりました。

これからも色々な音楽について広く学び、楽しく学習して行ってほしいと思います。

教職員の皆様には、短い間でしたが親しくさせていただきましたお世話になりましたことを感謝申し上げます。離任のご挨拶とさせていただきます。

講師 北村 臣子 先生

六瑞の皆さん、こんにちは。六瑞を思う時に一番印象に残っている情景は皆さんが金管の練習を頑張っている姿です。先生方も児童の皆さんも最高の作品を目指して一丸となっている姿です。一人一人が自分のパートを一生懸命演じることで大きな素晴らしい作品が仕上がっていく姿にはとても感動しました。もしかすると在学中は気付いていないかもしれませんが、この経験は一生の宝になると思います。今後もこの伝統を大切にしてください。

